

フリマアプリに出品されたセンザンコウの剥製(11日、東村山署で)



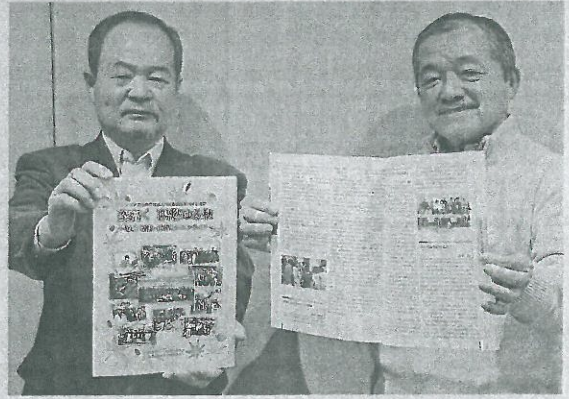
危険種剥製 フリマ出品 「センザンコウ」容疑の2人 書類送検

全身がうろこに覆われた絶滅危惧種の哺乳類「センザンコウ」の剥製をフリーマーケットアプリに出品したとして、東村山署は11日、鹿児島市の古物商の男(72)と長野県上田市の女(29)を種の保存法違反(広告の禁止)容疑でそれぞれ書類送検した。

発表によると、2人は1~5月、同法で国際希少野生動物種として取引が規制されているセンザンコウの剥製を、それぞれ販売目的でフリマアプリ「メルカリ」に1万円~7500円で出品した疑い。いずれも容疑を認めている。

地域ボランティア シニア講座10周年

板橋 記念誌を発行



講座を振り返る記念誌を手にする宮崎さん(左)

板橋区民や区内で働くシニア世代を対象に、区内のボランティア活動などを紹介する「地域入門体験講座」

が、今年度で10周年を迎えた。区民らのセカンドライフを支えてきた講座の節目に合わせ、受講者らがこれまでの活動をまとめた記念誌を発行した。

区などは2007年、第1次ベビーブーム(1947~49年)に生まれた団塊世代が定年を迎えることを受け、老後のセカンドライフを地域活動に生かしてもらおうと講座を始めた。区内のボランティア団体や専門家による座学を受けると、農業や公園整備、児童館でのボランティアなどが体験でき、これまでに約350人が受講した。

講座開設から今年度で節目を迎えることを受け、講座を企画運営する市民団体「板橋フォーラム実行委員会」などは、受講者79人の寄稿などを掲載しながら、これまでの活動を振り返る記念誌を制作することにした。寄付を募り、自費で500部制作した。

記念誌の発行に携わった宮崎良介さん(67)も、1期生として夫婦で受講した。当時、郵便局に勤めていた宮崎さんは、老後について具体的に考えたことがなく、チラシを見て興味を

持った。たばこの吸い殻拾いや、障害者施設での介助ボランティアなどを1回ほど、区内の福祉施設でボランティア活動をしている。

宮崎さんは「講座の中で助け合いの大切さや、地域に貢献することで得られる幸福感や満足感に気づけた」と語る。

実行委員会の担当者は、「記念誌を読んで、『自分も参加しよう』と思う人が増えてくれたら」と話している。記念誌は、区内の全図書館に寄贈されているほか、1冊800円で購入もできる。問い合わせは宮崎さん(080・4120・3333)まで。

枝肉	11日(単位円)			
	高値	安値	平均	
豚	極上	617	514	541
	上中並	595	482	517
	並外	543	421	501
	等外	518	281	478
等級	②	1975	2640	2980
	A	2070	2501	2748
	B	—	2411	3309
	交雑	—	—	—
鶏卵	全農・キロ・税別	1211	1517	1781
	L	1334	1669	1729
	M	—	—	—
	S	—	—	—

【さいたま】急反落	高値 安値 平均			
	豚	551	518	530
(上場頭数)	上中並	530	475	517
	並外	527	440	491
	等外	457	346	411
	204	—	—	—

鶏卵	高値 安値 平均		
	L	227	203
L	243	219	225
M	253	229	235
S	253	229	235
特	242	218	225
殊	252	130	—

読者の ニュース 写真 佳作



護国寺で慈善茶会
お点前750人楽しむ

文京区大塚の護国寺で10日、歳末恒例の「慈善茶会」が開かれた。歳末たすけあい運動の一環で、今年で51回目。境内には流派ごとに七つの茶席が設けられ、あでやかな和服姿の参加者ら約750人がお点前を楽しんだ。収益金は読売と愛の事業団に寄付される。